

静寂の社に矢の音響く 第23回名和公顕彰弓道大会



▲ 的に向かって精神統一する佐藤さん（中央）

新緑まぶしい4月29日、今年も名和神社弓道場で名和公顕彰弓道大会が開かれました。

この大会は、大山町主催で毎年開かれており、今年も県内各地から120人が参加。中学生の部、高校男子・女子の部、一般男子・女子の部にわかれて、日ごろ鍛えた技を競い合いました。

ピンと張った弓から矢が放たれ、28発先の的に命中するたび、応援席から歓声があがっていました。

大山町からは、高校女子の部に奥田真未さん、本田真理果さん、勝部佳菜さん、坂田亜未さん、男子の部に中川幸希さんが、一般の部に佐藤容子さんが参加。その中でも中川さんは団体

・個人とも
に優勝、また坂田さんは団体優勝と、この2人を含めて皆さんが大健闘しました。

六尺藤の甘い香りに包まれて



最終日には藤棚の下に入りきらないほどのお客さんが

住雲寺で藤まつり

藤の花が見ごろを迎える5月3日から5日まで、住雲寺（大山町古御堂）で藤まつりが開かれ、町内外から約1万5000人のお客さんが見物に訪れにぎわいました。

5月3日には、先着300人に藤もちが配られたほか、期間中は藤棚の下にお茶席が用意され、寺の本堂では琴の演奏などが催されました。

最終日の夜には、山陰で活躍中のグループ、ゴスペルオーブのコンサートがあり、ライトアップされた藤の幻想的な雰囲気の中、参加者は心地よい歌声を楽しみました。

伝統の御神幸行列練り歩く

逢坂八幡神社例大祭

5月4日、逢坂八幡神社（松河原）の例大祭が行われ、一目見ようと多くの参拝者でにぎわいました。

昼過ぎには「烏毛、白毛」の華麗な舞を交えながら3基の神輿が進む伝統の御神幸行列が本殿から約400発先の御幸場まで練り歩き、沿道からは盛んな拍手が送られました。

また境内の御幸場では、神事のほか氏子の乙女たちが「浦安の舞」を神前に奉納。参拝者の注目を集めました。



地元高校生による烏毛、白毛の華麗な舞が注目を集めました